



公 益 財 団 法 人

かながわ生き活き市民基金

Kanagawa Lively Citizens Fund

2014（平成26）年度 事業報告書

2014年4月1日～2015年3月31日

1. 事業報告
2. 公益目的事業
3. 法人運営

1. 事業報告

1) 寄付募集の推進

- ①財団運営費への寄付は、5月に生活クラブ生協より300万円、6月に1団体より1,000円の寄付がありました。
- ②福祉たすけあい基金への寄付は、生活クラブ生協組合員から12,585,600円の寄付があり、2015年3月末で11,066人の組合員が参加しています。(4月9,899人からの純増数:1,167人) また、一般からは16名、14団体から114,895円の寄付がありました。

福祉たすけあい基金寄付金額

月	組合員	一般	合計
4月	986,300	69,600	1,055,900
5月	992,300	1,200	993,500
6月	987,600	12,000	999,600
7月	1,001,000	1,200	1,002,200
8月	1,021,600		1,021,600
9月	1,089,400		1,089,400
10月	1,083,300		1,083,300
11月	1,084,300	30,000	1,114,300
12月	1,078,300	895	1,079,195
1月	1,082,100		1,082,100
2月	1,076,500		1,076,500
3月	1,102,900		1,102,900
合計	12,585,600	114,895	12,700,495

- ③事業指定助成プログラム『エラベル』登録団体への寄付募集活動を2015年1月～3月に集中して取り組みました。『エラベル』の特徴は、登録団体が寄付活動の主体となり、当財団は登録団体をバックアップし、寄付者を広げる役割を果たすというものです。当財団はパンフレットの作成、個人や団体へのアピール活動を行い、寄付募集に努めました(寄付額2,618,875円)。
- ④「KC(かながわ コントリビューターズ) 1000 作戦」と銘打って、当財団の応援団を募りました。2014年度は法人寄付を募り、8法人から33万円の寄付がありました。また個人(1名)から12,000円寄付がありました。プログラムに沿って、50%は法人・個人が指定したエラベル団体に、残り50%は当財団運営費への寄付としました。
- ⑤オーダーメイド基金の呼びかけに対して、全労済神奈川県本部が応えてくれました。初めてのオーダーメイドプログラム『子どもいきいき助成』は、助成総額100万円(上限20万)で1月～2月に募集を行いました。
- ⑥公益財団のメリットを活かすために、9月に神奈川県へ税額控除の申請を行い、11月7日に対象団体として証明を受けました。

2. 公益目的事業

1) 助成事業

(1) 全体

- ①かながわ生き生き市民基金設立2年目である今期は、新助成プログラム開始を目指すワーキングチーム検討チームを4月に立ち上げ、事業指定助成プログラム及びオーダーメイドプログラムの検討を行い、5月度理事会に答申しました。
- ②事業指定助成プログラム「エラベル」、福祉たすけあい基金の申請受付開始に合わせ、8月に県内4か所(横浜、藤沢、相模原、川崎)で説明会を開催し16団体の参加がありました。個別説明には9団体が来所し、25団体に説明を行いました。また、第3期福祉たすけあい基金、神奈川労済生協子どもいきいき助成の2015年1月5日からの開始に合わせ12月、1月に助成説明会を開催し計8団体の参加がありました。

- ③各助成申請受付チラシを作成し、神奈川県内の市民活動サポートセンター37 か所に配架の手配をしたほか、生活クラブ生協での配布チラシ配架及び周知のための配布を依頼しました。
- ④また助成申請のお知らせや書類をホームページにアップしたほか、神奈川県の NPO 情報サイトの「KaNaPio ステーション」、公益事業コミュニティサイトの CANPAN に助成情報を掲載してもらいました。

(2) 福祉たすけあい基金

- ①2013 年度に実施した福祉たすけあい基金の課題を整理するために、福祉たすけあい基金総括チームを 5 月に立ち上げ、7 月度理事会に答申しました。
- ②上記、改善点を 2014 年度福祉たすけあい基金の募集要項に反映し、第 2 期福祉たすけあい基金の申請受付を 8 月 1 日より開始しました。2015 年 1 月に選考委員会を開催し、12 団体に 3,944,950 円の助成を決定しました。 *資料 1 「第 2 期福祉たすけあい基金助成結果」
- ③福祉たすけあい基金の認知度を高め、より多くの市民団体への助成機会を増やすことを目的に、助成回数を年 2 回とする取組みに着手することを定時評議員会で決定しました。
- ④6 月に福祉たすけあい基金助成金贈呈式を神奈川労働プラザで開催し、助成した 9 団体、役員、評議員、寄付者等約 60 名が参加しました。
- ⑤2015 年 1 月 5 日より、第 3 期福祉たすけあい基金の申請受付を開始しました。2 月 27 日に募集締め切りし、34 団体の申請がありました。(選考・助成は 2015 年 5 月)

(3) 事業指定助成プログラム「エラベル」

- ①事業指定助成プログラム「エラベル」の開始準備を行い、8 月 1 日より申請受付を開始しました。9 月 20 日までの申請締め切りまでに 4 件の申請があり、11 月開催の選考委員会にて 4 団体の登録を決定しました。

*4 団体・・・認定 NPO 法人湯河原町地域作業所たんぼぼ

NPO 法人フェアスタートサポート

認定 NPO 法人地球学校

「福島の子どもたちとともに」川崎市民の会

- ②12 月に 4 団体と寄付獲得に向けた戦略会議を行い、12 月 20 日にはキックオフイベントを開催しました。キックオフイベントには約 70 名が参加し、講演や 4 団体のアピール、参加者との交流を行いました。
- ③2015 年 1 月～3 月に実施した寄付募集活動によって、2,618,875 円の寄付を集め、4 団体に 2,251,694 円を助成しました。

*資料 2 「エラベル寄付募集活動結果」

*資料 3 エラベル活動報告概要

(4) 子どもいきいき助成

- ①2014 年 7 月に神奈川労済生協（全労済神奈川）からのオーダーメイド助成の申し出がありました。神奈川労済生協から提案のあった助成趣旨＜子どもの未来を創る活動への助成＞を活かして『子どもいきいき助成』とネーミングしました。
- ②2015 年 1 月 5 日～2 月 27 日を募集期間とし、11 団体の申請がありました（選考・助成は 2015 年 5 月）。

2) 広報発行事業

- ①第 1 期福祉たすけあい基金の助成結果を掲載した「かながわ生き活き市民基金ニュース」を 1,500 部作成し寄付者や関係者に発送したほか、以下のチラシ、冊子を作成しました。
- ・第 2 期福祉たすけあい基金・事業指定助成プログラム「エラベル」募集チラシ : 3000 部
 - ・第 3 期福祉たすけあい基金・神奈川労済生協子どもいきいき助成募集チラシ : 2500 部
 - ・神奈川労済生協子どもいきいき助成募集チラシ : 3000 部

- ・ 神奈川労済生協子どもいきいき助成ポスター : 100 部
- ・ 事業指定助成プログラム「エラベル」カタログ : 4000 部
- ・ 事業指定助成プログラム「エラベル」キックオフイベントチラシ : 3000 部
- ・ 公益財団かながわ生き生き市民基金パンフレット : 500 部
- ・ 第4期福祉たすけあい基金募集チラシ : 2500 部

3. 法人運営

1) 機関会議運営

(1) 理事会

① 定例理事会を5月、7月、9月、11月、1月、3月に開催しました。

＊主な内容

5月理事会	・ 2013年度決算の承認 ・ 特定資産取扱要領の決定
7月度理事会	・ 事業指定助成プログラム『エラベル』募集要項の承認 ・ 「福祉たすけあい基金」の総括・改善を踏まえた今後の方針の承認
9月度理事会	・ 『エラベル』キックオフイベント開催の承認
11月度理事会	・ 中間監査報告 ・ 神奈川労済生協（全労済）オーダーメイドプログラム『子どもいきいき助成』取組の承認
1月度理事会	・ 第2期福祉たすけあい基金助成結果の承認 ・ 2015年度事業計画（第一次）の討議 ・ 寄付者拡大に向けたプログラム「KC1000」開始に向けた討議
3月度理事会	・ 2015年度事業計画・収支予算案の決定 ・ 社会的連帯経済創出に向けた研究プロジェクトの設置の承認

(2) 定時評議員会・臨時評議員会

定時評議員会	◇開催日時 : 2014年6月21日(土)13:00～14:00 ◇評議員出席状況 : 評議員16名出席(27名中) ◇以下の議案を全て承認 ・ 2013年度事業報告・決算報告 ・ 2014年事業計画の補強の承認 ・ 役員報酬等並びに費用に関する規程の一部改訂 ・ 評議員、理事、監事の補充選挙
臨時評議員会	◇評議員全員による書面議決 ◇議案 ・ 2015年度事業計画の承認 ・ 2015年度収支予算案の承認 ・ 資金調達及び設備投資の見込みの承認

(3) 定例理事会、評議員会の参加状況は以下の通りです。

理事会参加状況

	5月度理事会	臨時理事会	7月度理事会	9月度理事会	11月度理事会	1月度理事会	3月度理事会
理事	16/22	16/22	16/22	17/22	14/22	18/22	16/22
監事	2/3	2/3	2/3	2/3	3/3	3/3	2/3

定例評議員会参加状況

	定時評議員会
評議員	16/27

2) 関係団体との連携

①生活クラブ生協

- ・7月に生活クラブ生協と今後の活動連携や広報について協議を行いました。
- ・エラベルの開始に伴い、8月に地域生協（横浜北生活クラブ生協理事会、横浜みなみ生活クラブ生協理事会・共済たすけあい委員会、かわさき生活クラブ生協理事と運営委員とオリエンテーション、湘南生活クラブ生協理事会、さがみ生活クラブ生協理事会）で生き生き市民基金や福祉たすけあい基金のことも含めた学習会を開催しました。また、9月に生活クラブ生協ユニオン共済・たすけあい委員会と共催で福祉たすけあい基金フォーラムを開催し、副理事長が講演したほか、福祉たすけあい基金の助成を受けた2団体を招き、助成を受けた活動の報告をしました。
- ・生活クラブ生協の広報紙「えぼ」（隔月）の共済・たすけあいのページに、かながわ生き生き市民基金の活動等の掲載するコーナーを設けました。（9月号～）

②運動グループ関連

- ・エラベルの開始に伴い、8月に神奈川W. Co 連合会理事会、11月にW. CoJam 理事会、12月に企業組合キャリーエル理事会で学習会を行いました。

③行政

- ・7月に開催された神奈川県主催のNPO推進課主催の認定NPO学習会にスピーカーとして事務局が参加し、助成事業の紹介をしました。
- ・8月にNPO推進課を訪問し、今後の連携等について意見交換を行いました。
- ・11月に相模原市市民協働推進課主催の認定・相模原市指定NPO学習会にスピーカーとして事務局が参加し、助成事業「エラベル」の紹介をしました。

④他の市民ファンド

- ・かながわ生き生き市民基金と同じく生活クラブの活動から生まれ、市民ファンドとして活動している公益財団法人ちばのWA地域づくり基金を9月に訪問し今後の連携等について意見交換を行いました。
- ・市民ファンド推進連絡会が主催する市民ファンド学習会を共催として新横浜オルタナティブ生活館で開催しました。

第 2 期（2014 年度）助成団体一覧

団体名	主な活動 地域	助成内容	助成金額（円）
NPO 法人 Music of Mind	藤沢市	知的障がい者の音楽活動を通じた 就労の場と繋がりづくり	678,710
NPO 法人「CLIP・あこーん」電話相 談室	横浜市	心をつなぎ、心を結ぶボランティ ア電話相談事業	558,200
NPO 法人大和子どもミニディサービス W.Co もこもこ	大和市	子ども子育て新法に対応する認可 保育園移行に伴う設備費	295,920
Charkhafe チャルカフェ	小田原市	親子で利用するキッズスペース整 備費	368,000
おしゃべリッチ∞	横須賀市	地域で市民がおこなう親子のひろ ば会場費	17,000
認定 NPO 法人 エンパワメントかな がわ	神奈川県 全域	虐待やいじめ、誘拐など子どもへ の暴力を防止するための新しいし くみ（ボランティア育成など）づ くり	421,220
就学前親子のためのふれあいサロン 「いぬぞう」	川崎市	就学前乳幼児をもつ人たちの急増 地域における新旧コミュニティの 就学前親子のためのふれあいサロ ンの設備費	109,214
NPO 法人ひまわりの会	横浜市	地域及び周辺地帯の外国の生活 （学習・入試ガイダンス・他）サ ポート事業の研修費	100,000
湘南小麦の会	茅ヶ崎市 中心の湘 南エリア	介護者・当事者が、手作り小麦で 元気を分け合う交流会開催費	150,000
アートが子どもたちを訪ねて来る会	横浜市	フォスターケア（里親制度）で暮 らす子どもたちを訪ねるアートプ ログラム（ワークショップ等の備 品、講師料等）	160,000
NPO 法人アール・ド・ヴィーヴル	小田原市	知的障がい者向けの多機能施設開 設に向けた整備費	800,000
神奈川わかものシンクタンク	相模原、愛 川、神奈川	中学生を対象にしたみんなで楽し く「神奈川県防災副読本」作成費	286,686
助成総額			3,944,950

資料2											
「エラベル」寄付実績											
団体名	月	生活クラブ関連(個人)		生活クラブ関連(団)		「エラベル団体」関連		「エラベル」 寄付金額合計	「エラベル」 寄付金額合計	助成額	
		寄付人数	寄付金額	寄付団体 数	寄付金額	寄付人数	寄付金額				
湯河原町 地域作業所 たんぽぽ	12月	1	11,000	23	278,154	0	0	1,667,654	11,000	1,430,862	
	1月	2	20,000			13	250,000		270,000		
	2月	4	29,000			28	866,000		895,000		
	3月	16	77,000			15	136,500		213,500		
	合計	23	137,000			56	1,252,500		1,389,500		
フェアスタート サポート	12月	1	11,000	15	152,000	0	0	346,870	11,000	299,196	
	1月	3	18,000			4	34,870		52,870		
	2月	3	25,000			0	0		25,000		
	3月	14	86,000			1	20,000		106,000		
	合計	21	140,000			5	54,870		194,870		
地球学校	12月	1	11,000	15	119,000	0	0	370,351	11,000	319,154	
	1月	4	13,000			2	7,000		20,000		
	2月	0	0			4	23,000		23,000		
	3月	13	53,500			23	143,851		197,351		
	合計	18	77,500			29	173,851		251,351		
「福島の子ども たちと共に」 川崎市民の会	12月	1	11,000	17	144,000	0	0	234,000	11,000	205,506	
	1月	団体寄付のみ				団体寄付のみ					
	2月	2	10,000			1	10,000		20,000		
	3月	11	47,000			2	12,000		59,000		
	合計	14	68,000			3	22,000		90,000		
総合計		76	422,500	70	693,154	93	1,503,221	2,618,875	1,925,721	2,254,718	
※ 助成額が寄付額の85%とならないのは、KC法人メンバー寄付の50%がの助成率が50%あるため。											
※ 助成額2,254,718円には、振込手数料3,024円を含む											

資料 3

エラベル活動報告概要

	財団の動き	湯河原町地域作業所たんぽぽ	フェアスタートサポート	福島の子どもたちとともに川崎市民の会	地球学校
12 月	・基金フォーラム 11/30 ・エラベル学習会 5 地域生協・3 委託 W.Co、W.Co 連合会 ・キックオフフォーラム開催 ・カタログ作成 4000 部送付 ・口座開設 ・振込用紙に各団体毎の口座記入。全カタログに用紙ホチ止め ・戦略会議	・寄附活動について広報メールを発信。 ・理事会にて寄附活動について詳細を説明し、協力を依頼。	・facebook ページで広報 ・個別打ち合わせ、懇親会等に参加時に広報	・キックオフフォーラムに参加 ・エラベルカタログを関係各方面に配布 ・冬の保養事業を行なう 企画、参加者募集、抽選、ボランティア募集など (12 月 23 日～27 日 福島市、郡山市などから 14 家族 45 名が参加)	15 日・参加：顔合わせ ・作成：プラカード作成／紹介 ppt 20 日・参加：キックオフイベント ・校正：カタログの団体ページ 26 日・入手：3 点セット (カタログ・振込用紙・申し込み用紙)
1 月	・生活クラブ広報紙えぼに掲載 ・生活クラブ運動グループ新年会に参加 ・地域生協・運動 G へのアピール ・HP でアピール ・FB でアピール ・全労済店舗へのカタログ置き ・アドバイザー 2 名契約 ・地球学校イベント参加	・生活クラブ新年会 (H27.1.14 新横浜) にて現状を説明。 ・生活クラブ生協小田原センターに配布用チラシ 400 部持参。 ・利用者向けに寄附活動の手紙を配布 (1 月 19 日)。 ・湯河原新聞、相豆新聞に寄附活動記事を掲載 (1 月 24 日土曜日)。 ・寄附活動の周知を図るため下記場所にパンフレットを設置。 湯河原町福祉課・税務課・保健センター・駅前観光案内所・ここめの湯・ゆうゆうの里売店・あかねホテル売店・カフェたんぽぽ・湯河原町図書館・エクセレントプラザ湯河原八番館・湯河原ロイヤルハイツ・中央温泉病院・さがみ信用金庫湯河原支店・湯河原郵便局・J Aバンク湯河原支店・西村京太郎美術館・農林水産祭り「たんぽぽ」売店・梅の宴「たんぽぽ」売店	・賛助会員更新のお知らせに同封して配布 ・ボランティアチームにカタログを配布、個人にて広報の依頼 ・生活クラブ等の賀詞交歓会にてカタログの配布、PR	・生活クラブ運動グループ新年会に参加し、活動のアピールし、寄付のお願いをする ・エラベル用に活動に関するリーフレットを作成し、配布 ・福島の子どもたちとともに世田谷の会のイベントでエラベルをアピール	4 日・発送：「エラベル」への寄付のお願い手紙＋3 点セット⇒ 対象者：外部の関係者 (約 20 名) 6 日・開催：地球っ子教室運営委員会 9 日・広報：j-wave で 5 分 JK RADIO TOKYO UNITED 11 日・参加：横浜大さん橋フェスタ 2015 ・作成：PR 用スチレンボード 14 日・参加：生活クラブ新年会 ・広報：Facebook、HP に「エラベル」 28 日・研修＋広報：横須賀市教育委員会主催の研修で「漢字王決定戦」 31 日・開催＋広報：埼玉みずほ台「漢字王決定戦」キャラバン
2 月	・中間点検会議 ・生産者グループへの働きかけ ・地球学校イベント参加 ・川崎市民の会イベント参加	・パンフレット設置場所を増設。 - 四季の店「おしゃれ」・イタリアンレストラン「トルティーノ」・湯河原燃料共同企業組合・梅の宴「たんぽぽ」売店 ・神奈川新聞に寄附活動記事を掲載 (2 月 18 日)。	・団体主催シンポジウム開催 ・これまでの寄付者、会員、サポーター企業等に配布	・2014 年に川崎で行なわれた移動教室の報告会を開催 (参加 50 名) 来場者にエラベルのカタログを配布してアピール ・多摩区のまちづくり活動発表会でエラベルカタログを配布するなどアピール ・中間会議参加・春の保養に向けて準備 ・生活クラブ多摩大会へエラベルのカタログ配布、アピールをさせてもらった。	2 日・参加：点検会議 ・作成：サンキュレーター ・注文：キャラクターグッズ 【バッジ】【クリアファイル】 17 日・発送：手紙＋3 点＋クリアファイル⇒対象会員：現 (約 60 名)／旧 (約 60 名) ・交渉 1) 中華街華僑総連関係者：進展なし 2) iOS 版のアプリ製作可能な方：杉浦裕樹氏の仲介で会う約束はしたが実現には至らず
3 月	・たんぽぽイベント参加 ・点検会議 ・関連団体・寄付者等へメールでエラベル締切をプッシュ ・KC 寄付の半額をエラベルに	・生活クラブコモンズ大会 (3 月 7 日、小田原) にて現状を説明。 ・寄附金状況を施設入口に掲示。 ・パンフレット設置場所への結果報告とお礼状を配布。 ・寄附をして頂いた方々への結果報告とお礼状を配布。	・代表より個別連絡にて寄付のお願い ・会員メーリングリスト、ボランティアメーリングリストにて再度のお願い ・facebook 上にてカウントダウン	・生活クラブ麻生、登戸デポー大会へエラベルのカタログ配布。麻生ではアピールをさせてもらった。 ・春の保養についての準備 ・中間会議参加 ・原発 0 (ゼロ) カウントダウン川崎集会にて、エラベルをアピール	2 日・参加：点検会議 8 日・参加：広く一般対象：KANAFAN ステーションで「漢字王決定戦」＋エラベル広報 14 日・開催＋広報：地球っ子教室の子どもたちと恒例の「漢字王決定戦 (第 15 回)」 15 日・開催＋広報：「漢字王決定戦」お披露目イベント開催＋エラベル広報 *広報：20 日の期限 10 日前から Facebook「漢字王決定戦」でカウントダウン写真 PR 17 日・持参：名前のない寄付金ほか手元の現金寄付を事務局へ